
クリスマスStation

カルタ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クリスマスStation

【Nコード】

N3471T

【作者名】

カルタ

【あらすじ】

クリスマスの駅で起きた、ちょっとした出来事。

軽い気持ちで、サラッと読んで下さい。

(前書き)

久しぶりに短編投稿です。

クリスマス。

もともと太陽の誕生を祝う日だったのがキリスト教化され、キリストの誕生を祝う日になったもの。

本来この日はとても神聖で清らかな日である。

そう決して……決して男女交際の足掛かりにしていいい日ではないのだ！

学校でそう力説し、クラスメイト達に冷たい目で見られ、婚期を逃した女教師に共感された日の帰り道。

何とも形容し難い気持ちで駅のホームに立っていた。

ホームにもカップルは沢山いる。

心がどんどん荒んでいくのを自覚し始めたとき、子供の鼻歌が聞こえてきた。

「~~~~~」

ああ懐かしい。曲名は忘れたけど、真っ赤なお鼻の〜、で始まる歌のイントロだ。

「真っ赤なお鼻の〜」

決して上手ではないが、大きく明るい歌声。

僕だけでなくホームに居るみんなも温かい視線を送っていた。

「大山君は」

大山君！？トナカイじゃなくて大山君！？

僕だけでなくホームに居るみんなの顔も驚愕に染まっている。

「いっつもみんなの笑い者」

大山君イジメられてるう！！

僕だけでなくホームに居るみんなも心の中で叫んだ（はずだ）。

「でもその年の、クリスマスの日、小林先生は言いました

」

お、先生が出てきた。よかった……これでイジメは終わるはず。

僕だけでなくホームに居るみんなも安心した。

「暗いよ君の性格は」

……………あれ？

僕だけでなくホームに居るみんなも一瞬、呆然とした。

「お前は何か役に立つのか」

先生もイジメに加担してる　　っ！！

しかもかなり辛辣だよ！！まだ笑ってる生徒の方がマシだよ！！

僕だけでなくホームに居るみんなも軽く戦慄した。

「いつも泣いてた〜大山君は〜」

泣いてたならやめてやれよ！！

僕だけでなくホームに居るみんなも大山君に同情した。

「去年の今日に〜旅立ちました〜　　……あ、電車だ！」

え？旅だった？どこに？……もしかして……。

みんなも同じことを考えたのか、電車が来たにも関わらず、その子以外の誰も動かなかった。

ホームにはクリスマスに似合わない、重たい空気が流れていた。

クリスマス。

もともと太陽の誕生を祝う日だったのがキリスト教化され、キリストの誕生を祝う日になったもの。

本来この日はとても神聖で清らかな日である。

でも、誰と、どう過ごそうが……楽しければ……いいんじゃないかな。

その後、ホームに来た子供の会話から、大山君はただ転校しただけだということが判明。

そのときホームでは、長く深い溜め息が一齐に吐かれた。

(後書き)

どうもカルタです。

まず始めに……全国の大山君、そして小林先生、どうもスンマセン
でしたあ！

そして、最後まで読んでくれた方、少しでも面白いと思ってくれた
方、ありがとうございます！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3471t/>

クリスマスStation

2011年10月7日15時59分発行